

○百里基地対策特別委員会

1. 委員構成(10名)

【令和元年12月20日～】

委員長 石井 旭 副委員長 幡谷好文
委員 市村文男、田村昌夫、小川賢治、岩本好夫
長島幸男、植木弘子、香取憲一、戸田見良

【令和4年3月2日～】(令和4年4月25日補充)

委員長 石井 旭 副委員長 戸田見良
委員 市村文男、田村昌夫、小川賢治、岩本好夫
長島幸男、植木弘子、香取憲一、真家 功

2. 設置の目的

小美玉市に百里基地が存在することにより、

- (1) 周辺住民の生活や事業活動にさまざまな不利益や障害等を受けている。
- (2) 不測の事態も想定され、対応策の揭示及び具体化を図らなければならない。
- (3) 昨今の景気の低迷等の影響により、基地周辺住民への安定的な諸施策の継続の困難が予測される。これらについての施策や措置等については、未だ十分といえる状況ではなく、関係機関への要請、折衝などを行い、防衛省に係る補助事業及び交付金等の有効活用を図り、今後の安全、安心なまちづくりのため少しでも有利な情報の収集や要望活動に努めることは必須であり、市ともども議会としても積極的にこれらの諸活動を展開するために当委員会を設置している。

3. 委員会の活動内容

○令和3年8月18日

陸上自衛隊V-22オスプレイの百里基地における訓練計画に関する要請を実施。

○令和3年9月10日

委員会を開催し、付託された「協定書締結に関する陳情書」についての協議を行った。

○令和3年12月6日

委員会を開催し、陸上自衛隊V-22オスプレイの訓練および米軍再編に係る航空機訓練移転の実施について、協議を行った。

○令和3年12月14日

米軍再編訓練移転に係る日米共同訓練の視察を実施。

○令和4年3月10日

委員会を開催し、陸上自衛隊V-22の安全性に関する広報動画を視聴し、また百里基地令和3年度訓練実績および事故報告について説明を受け、協議を行った。

○令和4年5月26日

百里飛行場における重大インシデントの発生に関する要請を行った。

4. 陳情・申し入れ

※令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から執行部の所管部課長が持参。

【令和3年度】 防衛省北関東防衛局への要請(令和3年8月18日)

1. 訓練実施にあたり、北関東防衛局から対外的な発表と市議会・周辺住民への説明。
2. 百里基地へ飛来する際は、事前に機数や回数、訓練の期間についての情報提供。
3. 機体の安全性への信頼を確保し、住民の不安が解消されるまでは、訓練内容や時間は段階を踏むとともに、訓練回数は最小限にとどめ、夜間飛行は行わないこと。
4. 住民の不安を払拭するため、機体の安全性に関する客観的な根拠並びに騒音に関するデータの提示。

【令和4年度】 百里基地への申し入れを実施。(令和4年7月12日)

1. 今後とも騒音軽減等に配慮し、通常と異なる訓練実施は、本市へ事前連絡すること。
2. 緊急事態を除き昼時間帯に加え早朝、夜間の訓練は、他の飛行場からの飛来も含め恒常的に自粛すること。
3. 更なる入念な点検整備、安全飛行の確保、隊員教育等を徹底し、軽微な不具合等も速やかな連絡と原因の究明及び調査結果を適時報告すること。
4. 茨城空港民航機着陸の路線拡大は本市の地域振興に重要となることから、便数制限の緩和について配慮をすること。
5. 航空祭の開催には、交通渋滞の発生防止に努め、路上駐車等が地域住民に支障をきたすことのないよう万全の体制をとること。